

2022年2月21日 第409号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動「19日行動」に500人

「憲法変えてる場合じゃない！」憲法いかす政治に変えよう！
草の根から世代をこえたたたかいを

総がかり行動実行委員会と全国市民アクションは2月19日、国会議員会館前で「憲法審査会強行やめろ！改憲発議反対！辺野古新基地建設中止！敵基地攻撃能力保有反対！防衛予算拡大するな！いのちと暮らしと営業を守れ！2・19国会議員会館前行動」を行い500人が参加しました。改憲勢力は、予算審議と並行して憲法審査会の開催を強行し、オンライン国会やコロナ感染拡大のもとでの国会運営などを足がかり改憲への世論作りをはかっていこうとしています。



いま、最優先すべきはコロナ対策であり、草の根から「改憲議論をしている場合ではない」「国民のいのち・暮らしを守る予算にせよ」の声を大きく広げていきましょう。立憲民主党の柚木道義衆議院議員、日本共産党の山下芳生参議院議員があいさつし、社会民主党の福島みずほ参議院議員と沖縄の風の伊波洋一参議院議員のメッセージが読み上げられました。

憲法9条壊すな！実行委員会の菱山南帆子さんが主催者あいさつを行い、「7月の参議院選挙で野党が前進せず改憲派に『黄金の3年間』を許してしまったら、憲法が変えられてしまう危険性がある」と強調。「総がかりの青年プロジェクトチーム(青年PT)で昨日、署名宣伝を行った。世代をこえて憲法をいかす、変えさせない運動を一緒にがんばっていこう」と呼びかけました。

二人が連帯あいさつを行い、青年PTの高木陽介さん(東京清掃労組)は、「青年一人ひとりが主体的に行動する組織として、青年PTを昨年、結成した。衆議院選挙での宣伝に続き、昨日、宣伝を行い55人が参加して署名40筆を集めた。高齢の方たちのたたかいをしっかり学び・継承し、平和に暮らせる社会にするため、全力でたたかっていこう」と呼びかけました。

「NO WAR！八王子アクション」の森善彦さんは、「本日午前中に行った八王子での79回目の19日行動には130人が参加した。戦争する国は許せないと、目に見える形で訴えることが大事。SNS活用の講座を開くなど、創意工夫して取り組んで行きたい」と話しました。

行動提起を憲法共同センターの木下興さんが行い、「一つひとつの取り組みを成功させ、署名を

軸にたたかひの輪を大きく広げていこう」と呼びかけました。

●東京 2/15 三多摩市民アクション 新憲法署名スタート集会

三多摩革新懇も事務局に入っている、「9条改憲 NO！三多摩市民アクション」の「憲法改悪を許さない 新・憲法署名スタート集会」が2月15日に開かれました。講演をした国際基督教大学名誉教授の稲正樹先生は、コロナを抑えるためには憲法に緊急事態条項を規定する必要があるというコロナ禍に乗じた改憲論の危険な登場の話から始め、衆院憲法審査会での議論の様子や自民党改憲4項目の問題点について詳しいレジュメを基に話されました。

自衛隊明記の危険性 特に、9条への自衛隊の明記の危険性、自衛隊加憲が市民の生活・人権に及ぼす影響など私たちが署名活動などを行う場合、知っておかなければならないことをたくさん話されました。自民党の改憲案では、9条全体を維持した上で、その次に9条の2として、「①前条の規定は、我が国の平和と独立を守り、国及び国民の安全を保つために必要な自衛の措置をとることを妨げず、そのための実力組織として、法律の定めるところにより、内閣の首長たる内閣総理大臣を最高の指揮監督者とする自衛隊を保持する。②自衛隊の行動は、法律の定めるところにより、国会の承認その他の統制に服する。」

後法が前法を廃するとは 9条に自衛隊を加憲することは、「後法は前法を廃する」という法原則によると現憲法9条2項「前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。」という戦後日本が戦争をしてこなかった平和国家を保障する宝の条文を空文化することになる。

戦争法に合憲のお墨付き また安保法制（戦争法制）の憲法的追認になり、集団的自衛権の全面的承認につながると。そして、自衛隊加憲論がもくろんでいることは、憲法9条にも立憲主義にも反する戦争法という悪法に合憲のお墨付きを与え、日本もアメリカなどの要請に基づいて海外での戦争に積極的に参加することになると。

改憲を許さない「草の根の運動」を！ そして、今、改憲相手との「草の根の運動」の綱引きの状況であるとも。最後に、天王山の7月の参議院選挙のために、市民と立憲野党と労組の再結集を！平和を守りつくり出していくことは、私たちの使命。憲法改悪を許さないための運動を草の根レベルで頑張っていこう！と訴えられました。（東京革新懇 mailfax ニュースより）

当面の行動

- 2月22日(火) 総がかり行動 ウィメンズアクション 18時～ 有楽町イトシア前
- 2月27日(日) 3.1朝鮮独立運動103周年 東京集会 14:00～ 文京区民センター3A
- 3月1日(月) 同 新宿キャンドルアクション(火)18:00～ 新宿駅西口
- 3月5日(土) 憲法共同センター全国交流会 13時30分～ オンライン
- 3月9日(水) 憲法共同センター「9の日」宣伝 12時～ 新宿駅西口
- 3月16日(水) 総がかり行動 沖縄県の設計変更不承認を考える学習会
14:00～ 衆議院第2議員会館 多目的会議室+オンライン
- 3月16日(水) 総がかり行動 署名宣伝 18:00～ 新宿駅西口